



「日帰りバス旅行」概要報告

3月19日に「日帰りバス旅行」を開催しました。参加できなかった会員の皆様には当日の状況報告、参加された会員の皆様には思い出として頂きたく報告致します。

1. バス旅行当日の状況

いつ雨が降ってきてもおかしくない曇りの朝を迎え、1名遅刻のアクシデントはありましたが、55名が揃い20分遅れの出発となりました。車中シルバー川柳で頭の体操をしながら時間の挽回もでき、予定の時間にリニア見学センターに到着出来ました。時速500km/hで走るリニアを幸運にも2回も見ることができ、その速さには全員

が圧倒されました。超伝導コースターを利用した超伝導の説明とデモも興味深いものがありました。

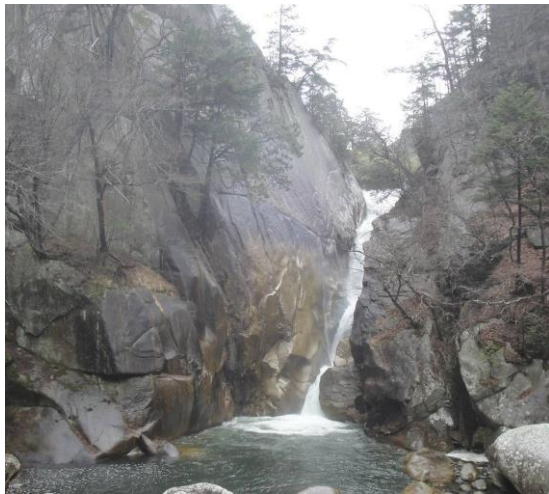


時速 500km/h には全員圧倒されました

平成27年4月28日

昼食会場では山本勘介に扮したスタッフに案内され、大型スクリーンの映像をバックに演じられる迫力の太鼓ショーを鑑賞しながら、ほうとうを含んだ郷土料理を楽しみました。食後、バスに乗る頃になると雨が降り始めたので、この店の武田信玄像の前で全員の記念写真を撮りました。

昇仙峡に向かう途中で少しずつ雨が強くなってきましたが、47名が元気よく散策しました。雨で煙る昇仙峡は紅葉、新緑とは違った趣があり、墨絵のような世界を味わうことができました。



雨の昇仙峡も落ち着いて良いものです

最後の目的地シャトレーゼベルフォーレワイナリーではワインの製造過程の見学と、蔵出しワインの試飲、ワインに合うチーズやケーキも試食しました。

帰途では都道府県名のビンゴゲームを楽しみましたが、47都道府県の中には馴染みの薄い県もあり、埋めるのに苦労した方もいたようです。賞品が限られており、最後の賞品はビンゴ該当者多数になり、ジャンケンとなって盛り上がりました。

小手指駅経由、所沢駅で解散し、雨も上がり楽しかった日帰りバス旅行も無事終了しました。

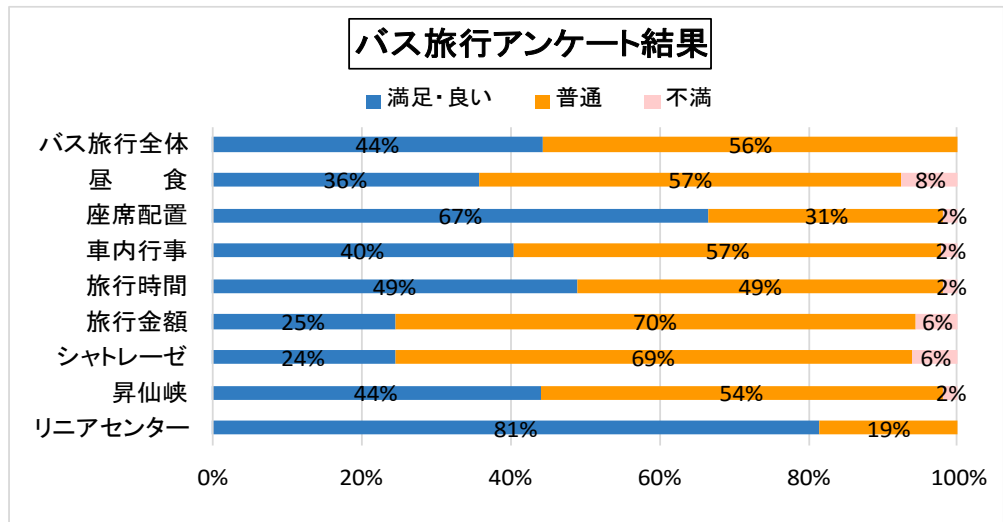
2. アンケート結果と今後の活動

車中で参加者の皆さんにアンケートをお願い致しましたが、主な結果は以下の通りです。

今回バス旅行の意見・要望

リニアセンターの評価が圧倒的に高いのは、やはり試験走行を2回見られたお陰かと思えます。昇仙峡は生憎の雨でしたので散策を満喫するまでには至らなかったようです。シャトレーゼワイナリーは訪問先の中では一番評価が低く、期待外れとの声もありました。これは役員の下調べ不足もあり反省です。

なお福祉バスの割には参加費用が高いとの意見もありましたが、福祉バスに加え通常の大型バス1台も追加が必要であり、その費用が影響しています。詳細はバス旅行収支報告をご参照願います。



平成27年4月28日

今後のバス旅行要望

社会見学や工場見学を兼ねたバス旅行を希望している方が多く、例としては富岡製糸場、国会・証券取引所等が上がっていました。また複数の場所を訪問するのではなく、1ヶ所を重点的にゆっくり巡りたいとの声もありました。

バス旅行以外のイベント要望

各種スポーツ大会の開催を希望する意見もありましたが、圧倒的に多かったのは講演会の要望です。また自由意見の中には「旅行にこだわらず、会員全員を対象にした年一回の懇親の場であればよい」との意見もありました。

忙しい中、車中でアンケートにご協力頂いた参加者の皆さまにお礼申し上げます。

3. 「企画から実施まで」の顛末記

昨年総会(6月28日)前の準備委員会の段階で、みんな(37期)の会の活動として、日帰りバス旅行を企画・検討しました。もっと良い季節に開催したいと思いましたが、費用を抑えるために福祉バス1台の利用を前提に考え、抽選の結果3月19日に決まりました。

当初、企画運営委員が中心となり計画立案を始めましたが、企画運営委員1名が退会することになり、全役員のバックアップ体制で進めることになりました。

コースについては、福祉バスを業務委託している丸大トラベルサービス株式会社から5コースを提案してもらい、費用や天候(雪や雨)対策を考えリニア見学を含む山梨コースを選択しました。リニア見学に対して8割以上の満

足という結果を得られて良かったと思います。

一番苦勞をしたのは参加人数の予想で、総会の86名参加をベースにバスを3台手配し参加費用一人6000円で募集しました。最終的には55名参加のバス2台で済み、400円を返金することができました。



役員会風景

初めての企画であり、そのための役員会を5回開催して検討を重ねました。座席の配置や車内でのシルバー川柳にビンゴゲームと検討項目が盛りたくさんでしたので、各項目の役員役割担当を決め当日に臨みました。

至らない部分もあったかと思いますが、アンケートでは総合的に高い評価を頂き一安心です。今後は要望の多かった講演会等も含め、会員の皆様が楽しめる企画を立案し実施したいと思いますので、皆様のご協力も宜しくお願い致します。

「日帰りバス旅行」感想

今回は参加者の中から3組の皆さまにバス旅行の感想文をお願いしました。聞くところによると感想文のことが気になってバス旅行が存分には楽しめなかった方

もいらしたようです。しかしお陰さまで非常に楽しい紙面にすることが出来ました。ここに参加者の生の声を紹介致します。

平成27年4月28日

1班 小松昭治さん

車両に搭載した超電動磁石と地上のコイルとの磁力によって走行する、世界で初めての実験的リニア走行を見ることができました。電磁石どうしの吸引力と反発力が利用され、高速で走行するとの理論は不思議のままでした。皆様方如何でしたか。



昼食会場の信玄像前の小松さん

10班 女性グループ

心配した朝からの雨もなく所沢駅を2台のバスが出発し、日帰りバス旅行のスタートです。圏央道を通り中央道も順調に、談合坂SAでのお土産にも胸を躍らせます。

先ずは未来の世界を学ぶ山梨県立リニア見学センター。真っ先に目に入ったのが青と白の鮮やかな実車両です。車両側面の超電導磁石を備え付けの液体ヘリウムでマイナス269度に冷やし、電気抵抗をゼロにすることで強力な磁力を発生させ浮上させるとか。技術、安全面の規定をクリアし

12年後には世界最速記録581km/hを樹立した「夢の新幹線」が誕生するそうです。「冥土の土産に絶対リニアに乗るぞ!」と心に誓いました。12年後のみんな(37期)の会は『日帰りリニア旅行』なんていいですね。

昇仙峡は日本一の渓谷美として知られています。目を見張る断崖、巨岩と無数の岩で創り出している美しい景観は必見でした。また昇仙峡は水晶発祥の地でもあり、水晶などの天然石を扱う土産店もありましたが、雨のせいか観光客はまばらでした。

旅はやっぱり郷土の地場産品での食事が楽しみです。レストランに到着すると武将姿のスタッフが店内を楽しく案内してくれました。大型スクリーンの映像をバックに演じられた迫力満点の太鼓ショー演奏を聴きながら食べた“ほうとう”は最高でした。

当日は午後から雨の天気予報でしたが、幸にも外気温も適温で小降りの雨で済みました。全員が事故、怪我、体調等のトラブルも無く無事に帰ることが家族への最高のお土産と思います。役員様及び企画運営委員皆様の御苦勞に感謝申し上げます。

楽しみの昼食は女性三名の太鼓ショーを見ながらのほうとう料理で、美味しくて完食しました。食後は風林火山の大太鼓の前で記念写真をパチリ。美人に写っていますように!



写真左から木下さん、鶴さん、川崎さんの10班美女軍団

平成27年4月28日

続いて雨の昇仙峡。いつもと違う風情有あり、霧がかかる景色にうっとりしつつマイナスイオンを一杯吸ってゆっくり散策しました。雨で人影も少なく幻想的な風景が私の心を打ち、日々の積み重なったストレスがきれいに洗い流されて…少しは若返ったかな？

11班 鎌野治樹さん

高齢者大学卒業以来1年ぶりのバス旅行です。出発時刻が迫ったところで「遅刻の人がいます」とのアナウンスで一瞬車内がザワつきましたが、やっと全員が揃っていざ出発。圏央道から中央道に入り最初の目的地「山梨県立リニアセンター」へと。

リニアモーターカーは時速が500km/hという事で、もの凄く速いのかと期待しつつ来るのを待ちました。一瞬で通り過ぎあつという間に消えましたが、私個人は東海道新幹線を最初見た時の方が、衝撃度は大きいものがありました。



リニア展示車両前の鎌野さん

最後にシャトレゼ・ベルフォーレワイナリー。発酵ブームに乗り、米麴で甘酒を楽しむ私。実は一滴も飲めないで、贅沢な樽ワインの香りを楽しみつつワイナリーを後にしました。

お世話して下さった役員の皆様のお陰で元気で楽しい一日を過ごすことができました。またご一緒しましょう！

ただ待っている時の姿は大人、子供も関係なく興味津津と来る方向に目を向けています。リニアモーターカーは、「浮上式なので地震時のとき揺れは感じないのかな？」とか「ガイドウェイと車体の隙間ほどの位あるの？」とか思いながら、「乗車できたら本当に良かったのに！」との思いを残し、昼食場所の「響きの里」に向かいました。

昼食にほうとうが出ましたが、過去に口にしたものよりも腰がありもちもち感もありました。山梨県内で魚を食するなんて！この食事はいただけませんでした。

二番目の目的地「昇仙峡」は生憎の天候のため十分な散策が出来ず、後ろ髪を引かれる思いでした。

最後の目的地である「シャトレゼ・ベルフォーレワイナリー」に向け雨の中一路出発。勝沼付近のワイナリーには数回試飲を兼ねて訪れたことがあります。そこは工場だけでブドウ畑が一緒というのは今回が初めてでした。チーズがおいしかったので土産に買いました。あとは帰るのみ。途中小手指駅南口に停車し、所沢駅で解散してバス旅行は終了しました。

「日帰りバス旅行」収支報告

収入は参加費6,000円を59名の方に振込んで頂き、354,000円となりました。

支出としては、先ず振込後欠席となった方の返金分を除外し計画を立てました。福祉バスは定員33名で費用15,000円、貸切バスは定員45名で費用118,260円と支出全体の約1/3を占めています。その他高速料金や昼食代・リニア見学科等の必要経緯費を差引くと、参加者に400円の返金が可能となりました。

差額の剰余金2,442円は一般会計に繰り入れたいと考えています。

みんな(37期)の会 日帰りバス旅行収支報告			
収入			354,000
	単価	人員	
参加費	6,000	59	354,000
支出			351,558
福祉バス(中型)			15,000
貸切バス(大型)			118,260
高速料金他			54,780
傷害保険料	50	55	2,750
昼食代	1,620	55	89,100
リニア見学科	330	55	18,150
参加者返金	400	55	22,000
用紙&印刷代			1,344
ビンゴ景品代			9,774
不参加者返金			20,400
差額			2,442

みんな(37期)の会「27年度総会」のお知らせ

- 日時：6月17日(水) 受付 13:30～
総会 14:00～
落語 15:00～16:00

- 場所：ところ荘 2階集会場

*ところ荘は所沢神明社となります。

皆様のご参加をお待ちしています!

編集後記

今回はバス旅行特集号となりました。「企画～実施まで」の顛末記には役員の愚痴も含まれているかもしれませんが、お許し下さい。無理を言って感想文をお願いした参加者の皆様には、紙面を借りてお礼申し上げます。

坂本記